

ガスクロマトグラフ質量分析計(GC/MS)

【メーカー】 (株)島津製作所

【型番】 GCMS-QP2010 Ultra

【設置場所】 理工学部8号館2階206

【仕様】

- ・ 質量分離：四重極型
- ・ 質量範囲：m/z1.5～1090
- ・ キャリアガス：He
- ・ イオン化法：EI
- ・ 分解能：R \geq 2M(FWHM)



機器説明

ガスクロマトグラフィー (GC)は、固定相に対する気体の吸着性等を利用し成分を分離する手法です。ガスクロマトグラフィー質量分析法 (GC/MS)は、GCで分離した成分の検出に質量分析計を用いることで、質量情報から成分の定性及び定量を行う事が可能です。

分子量が比較的小さく、揮発性の高い成分の分析に有効で、幅広い有機成分の構造推定もできます。また、GCMSに搭載しているヘッドスペースオートサンプラー(AOC-5000)は、液体試料注入法、ヘッドスペース(HS)注入法、固相マイクロ抽出(SPME)注入法、の3種類の試料導入法に対応しており、様々な形状の試料を分析できます。

活用事例

○ポリマーの構造解析 ○におい分析 ○樹脂中の添加剤、不純物分析